

＞「Vision2030」の実現に向けた種まきと刈り取り

事業セグメント別戦略

CHEMICALS

薬品事業

脱炭素社会の実現に向けて、環境負荷の低減に資する薬剤の開発・製造・販売を推進し、あらゆる産業分野に向けた表面処理剤の供給とともに、最新のノウハウと技術を提供します。

主な事業内容

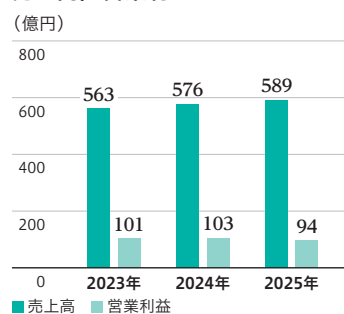
- 金属表面処理剤
- 防錆油
- 圧延油
- 塗料
- 工業用洗浄剤
- 塗装下地
- 金属防錆
- 潤滑皮膜
- 無電解Niめっき液
- その他機能性皮膜薬剤



2026年3月期の事業概況

売上高は589億19百万円（前期比2.3%増）、営業利益は93億63百万円（前期比9.4%減）となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これに伴うノウハウ、技術サポートを提供しています。国内では鉄鋼分野・自動車分野を中心に、販売数量が前期と比べると微増し、緩やかな回復基調で推移しました。海外では欧米地域が低調だったものの、アジア地域を中心に販売が増加したことにより、薬品事業全体の売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格の高値圏での推移と人件費および減価償却費の増加により営業利益は減益となりました。

売上高／営業利益



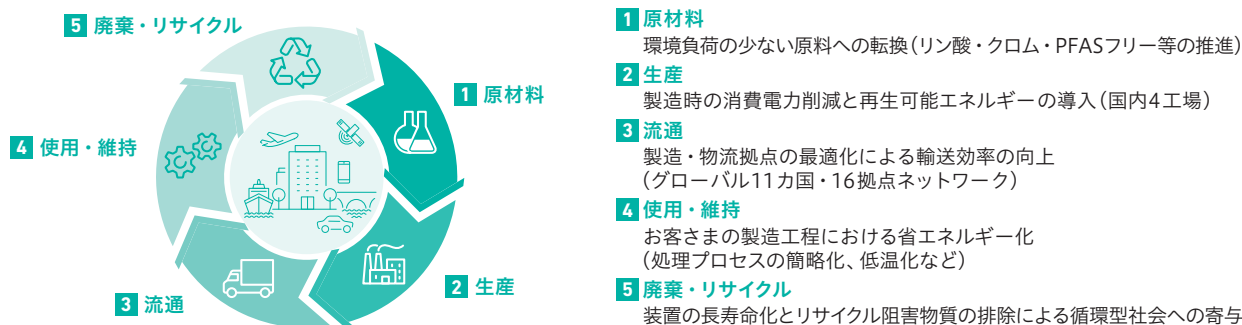
「Vision2030」の実現に向けた成長戦略

世界5つのエリアを結ぶ「リージョナル経営」により、各地域の経済成長や市場ニーズに最適化した戦略ポートフォリオを構築し、グローバルで持続的な成長を実現します。



薬品事業に関する環境課題への取り組み

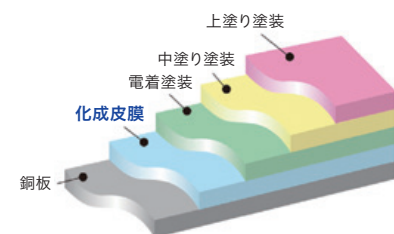
薬品事業が提供する真の価値は、薬剤そのものが持つ機能に加え、サプライチェーン全体を通じた「環境負荷の最小化」にあります。素材の長寿命化や、あらゆる製造プロセスの省エネルギー化を徹底することで、社会におけるサーキュラーエコノミー（循環経済）の実現に貢献します。



環境負荷を抑える次世代対応製品

■「見えない薄膜」が製品寿命を延ばす塗装下地技術

自動車や家電などの金属製品は、そのままではすぐに錆びて劣化します。例えば自動車のボディには美しさと耐久性のために3層（3コート）の塗料が塗り重ねられますが、当社のコア技術である「塗装下地」は、その多層塗膜と金属素材を強固に密着させる「見えない土台」として機能します。金属表面にナノ・ミクロンレベルの薄膜を形成して錆や腐食を根底から防ぐことで、製品の寿命を飛躍的に延ばし、社会の資源保護（長寿命化）に役立っています。



■ 当社のScope 4（事業を通じた削減貢献）をけん引する主力製品群

近年では、製造プロセスそのものの環境負荷低減が強く求められています。当社は、製品の長寿命化という本質的な価値の提供に加え、特集ページ（P63）で詳述しているとおり、当社が設定した算定条件に基づく試算において、製品の利用を通じて世界全体で年間18.3万トンのCO₂排出削減への貢献（Scope 4）や、自動車1台あたり約9.3kgのCO₂排出削減効果が見込まれています。こうした環境負荷低減への貢献を支えているのが、当社薬品事業の次世代環境ソリューション製品群です。

「パルシード（塗装下地薬剤）」や「ファインリューベ（一液型潤滑剤）」といった次世代環境対応薬剤、そして薬液の自動分析・管理装置「Parker Chemical Controller（PCC）」は、それぞれが革新的な課題の解決策となっています。これらは単なる製品の提供にとどまらず、各々の工程においてお客さまの製造プロセスを最適化・自動化し、エネルギーロスや廃棄物、薬剤使用量を劇的に低減します。地球環境の保全とお客さまの経済的メリットを同時に実現するこれら3つの柱は、当社の持続可能な成長を力強くけん引する戦略的なビジネスモデルです。

パルシード （塗装下地薬剤）	ファインリューベ （次世代一液型潤滑剤）	Parker Chemical Controller
環境負荷を極限まで抑えた次世代皮膜 - CO₂排出量を約70%削減 - 産業廃棄物（スラッジ）を1／10以下に抑制 - 完全重金属フリー＆表面調整不要 - 表面調整工程の撤廃による工程短縮	工程革命を起こす潤滑システム - CO₂排出量を約60%削減 - 産業廃棄物（スラッジ）ゼロ排水削減の実現 - 常温～低温処理が可能で省エネを実現 9工程から4工程への圧倒的な工程短縮	表面処理薬剤自動分析管理装置 - 薬剤使用量5～10%削減 - 処理液濃度の安定化 - 廃棄物の削減 - CO₂削減に貢献